

# GTFS-JP講習会資料【応用編】

---

2021.9.17

# 目次

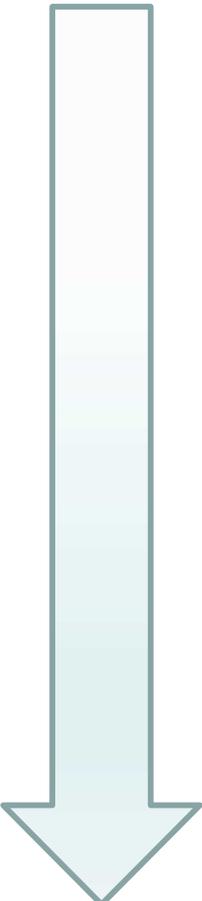
1. 入門編の概要説明
2. GTFS-JP
3. 第3版における主な変更点とその理由
4. データ作成支援

# 入門編の概要説明

# 入門編の目次

1. GTFS-JPのお話しの前に
2. GTFS-JPの成り立ちと概要説明
3. GTFS-JP作成に必要な情報とは
4. GTFS-JPに関する技術的な説明

利用者の利便性 低



バス停で確認

バス会社や自治体のホームページ上で確認

バス会社や自治体に電話で確認

経路検索アプリやサイトで経路検索実施

利用者の利便性 高

バスを調べる際に利用者の利便性が最も高いのは、  
経路検索アプリやサイトで経路検索すること。

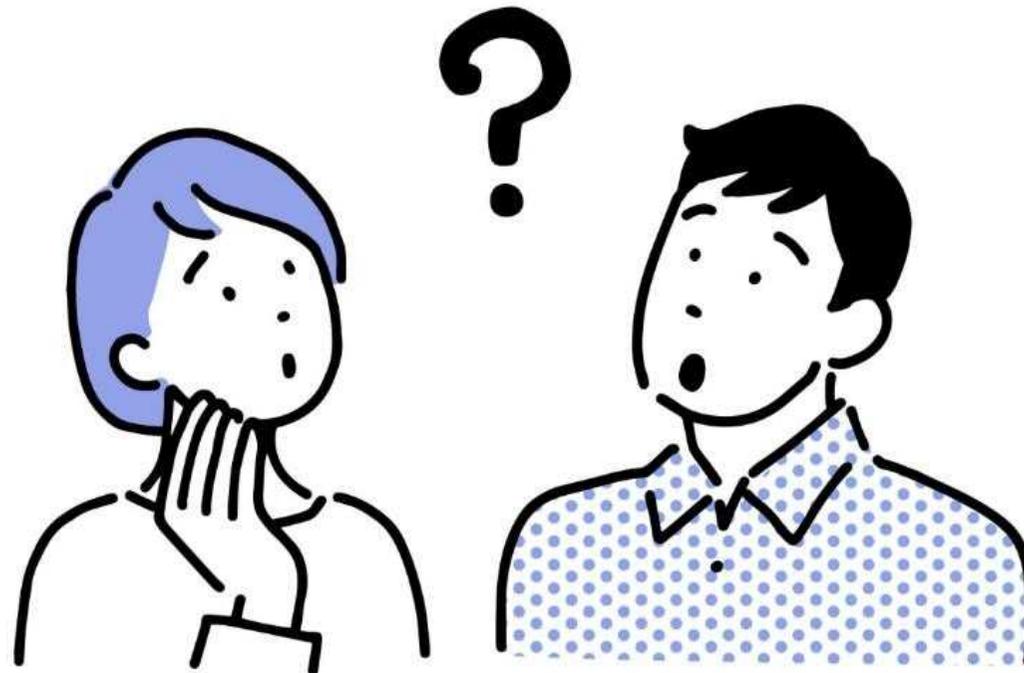
バスの情報が経路検索に掲載されることが**重要**

経路検索アプリやサイトに掲載されるために  
必要なデータ

**= GTFS-JP**

GTFS ?

GTFS-JP ?



# GTFS-JP =

国内における標準的なバス情報フォーマットであり、経路検索アプリやサイトに登録する際の一つの静的データの形式

既にバス事業者などが持っている、人が目で見えるデータをもとに、システムが判別できるように、ルールに沿ってデータ化したもの

オープンデータとして開示し、様々にご利用いただくことも可能

# GTFS-JP

17のCSVファイルで構成されており、使用するすべてのファイルはカンマ区切りのテキストファイルとして保存します。

カンマ = ,  
テキストファイル = .txt

1. 事業者情報(必須: agency.txt)
2. 事業者追加情報(任意: agency\_jp.txt)
3. 停留所・標柱情報(必須: stops.txt)
4. 経路情報(必須: routes.txt)
5. 便情報(必須: trips.txt)
6. 営業所情報(任意: office\_jp.txt)
7. 停車パターン情報(任意: pattern\_jp.txt)
8. 通過時刻情報(必須: stop\_times.txt)
9. 運行区分情報(条件付き必須: calendar.txt)
10. 運行日情報(条件付き必須: calendar\_dates.txt)
11. 運賃属性情報(必須: fare\_attributes.txt)
12. 運賃定義情報(任意: fare\_rules.txt)
13. 描画情報(任意: shapes.txt)
14. 運行間隔情報(任意: frequencies.txt)
15. 乗換情報(任意: transfers.txt)
16. 提供情報(必須: feed\_info.txt)
17. 翻訳情報(必須: translations.txt)

17のCSVファイルで構成されており、使用するすべてのファイルはカンマ区切りのテキストファイルとして保存します。

カンマ = ,  
テキストファイル = .txt

1. 事業者情報(必須: agency.txt)
2. 事業者追加情報(任意: agency\_jp.txt)
3. 停留所・標柱情報(必須: stops.txt)
4. 経路情報(必須: routes.txt)
5. 便情報(必須: trips.txt)
6. 営業所情報(任意: office\_jp.txt)
7. **停車パターン情報(任意: pattern\_jp.txt) 第3版から追加**
8. 通過時刻情報(必須: stop\_times.txt)
9. 運行区分情報(条件付き必須: calendar.txt)
10. 運行日情報(条件付き必須: calendar\_dates.txt)
11. 運賃属性情報(必須: fare\_attributes.txt)
12. 運賃定義情報(必須: fare\_rules.txt)
13. 描画情報(任意: shapes.txt)
14. 運行間隔情報(任意: frequencies.txt)
15. 乗換情報(任意: transfers.txt)
16. 提供情報(必須: feed\_info.txt)
17. 翻訳情報(必須: translations.txt)

	内容	ファイル名
事業者情報	運行主体など	agency.txt
停留所情報	停留所の名称や緯度経度	stops.txt
路線名情報	路線名など	routes.txt
ダイヤ情報	便毎のバス停通過時刻	trips.txt stop_times.txt
運行日情報	運行日	calendar.txt calendar_dates.txt
運賃情報	運賃	fare_rules.txt fare_attributes.txt
提供情報	データの有効期間など	feed_info.txt
翻訳情報	停留所の読み方や英語訳など	translations.txt

GTFS-JPデータは、Googleをはじめとする経路検索事業者にデータを渡すために活用されていたが、GTFSとGTFS-JPの乖離が進んだ等により、2020年初頭ごろから一部CPで受け入れられなくなった。

# 第3版における 主な変更点とその理由

## 第3版での主な変更点

- 停留所と標柱の設定方法
- 経路等の設定方法
- 多言語・ふりがなの設定方法

## 第3版での主な変更点

- 停留所と標柱の設定方法
- 経路等の設定方法
- 多言語・ふりがなの設定方法

## 停留所の位置が正しくない(停留所NG)

GTFS-JP(第2版)では

### 標柱と停留所の設定パターン

標柱と停留所の設定パターンは次の3つがあります。下記の特徴を踏まえて、データ整備工数や熟練度、現地の複雑さ等に応じた方法を選択してください。

方法	停留所	標柱	データ作成	乗降場所	名寄せ・代表緯度経度
代表点のみ	-	1	○簡易	×不正確	○不要
標柱のみ	-	複数	○簡易	○正確	×不正確
親子設定	1	複数	×複雑	○正確	○正確

図表 3 停留所と標柱の設定パターン

- 「代表点のみ」や「屋外バス停で親子設定」をすると利用者に対して利用する位置が正確に案内できないためNG

## ※仕様書(第3版) 13ページ 2-2-3. 停留所と標柱の設定方法 参照

- 標柱（バス停のポール）の位置等のデータ作成について、「任意」から「原則として必要」に変更。
- それぞれに番号等が付されている2本以上の標柱が存在する屋外のバス停（大きな交差点や、バスターミナル等）の取扱いを国際基準に合わせ、標柱を束ねる設定を行わないこととした上で、束ねるための設定方法について今後国際仕様への反映を含めて検討。

	パターン	設定方法	親停留所の設定	のりば情報の設定
屋外	①道路の片側にのみポールが設置されている	ポールの位置に標柱を設定する 参考) ポールと乗降する場所が異なる場合は、利用者が実際に乗降する位置に標柱を設定することが望ましい	×	×
	②バス停として同じ名称で、道路の両側に1つずつのポールが設置されている	それぞれのポールの位置に標柱を設定	×	×
	③バス停として同じ名称で、3本以上のポールが設置されている			
	④バスターミナル等、2本以上のポールが存在し、各ポールに番号・乗り場名等が付されている停留所	それぞれのポールの位置に標柱を設定 参考) 経路検索事業者等に親停留所の設定を求められた場合には、屋外であるため設定できない旨を説明	×	○
屋内	⑤屋内バスターミナル	それぞれのポールの位置に標柱を設定し、停留所は緯度・経度がバスターミナルの建物内となるように設定	○	○

## 第3版での主な変更点

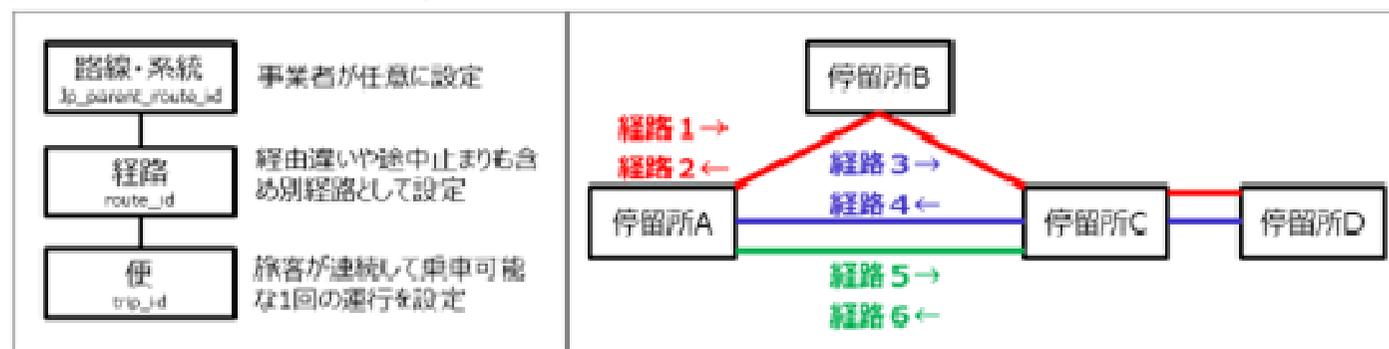
- 停留所と標柱の設定方法
- **経路等の設定方法**
- 多言語・ふりがなの設定方法

## route\_idを統一する必要がある

GTFS-JP(第2版)では

### 経路の分け方

GTFS-JPでは、経路違いや途中止まり、往路・復路は別の経路として設定することを基本とします。図表6の右の図の例では6つの経路ができる形となります。また、運賃は経路に紐付くため、同一経路でも運賃が異なる場合(深夜バス含む)も別経路として設定が必要です。

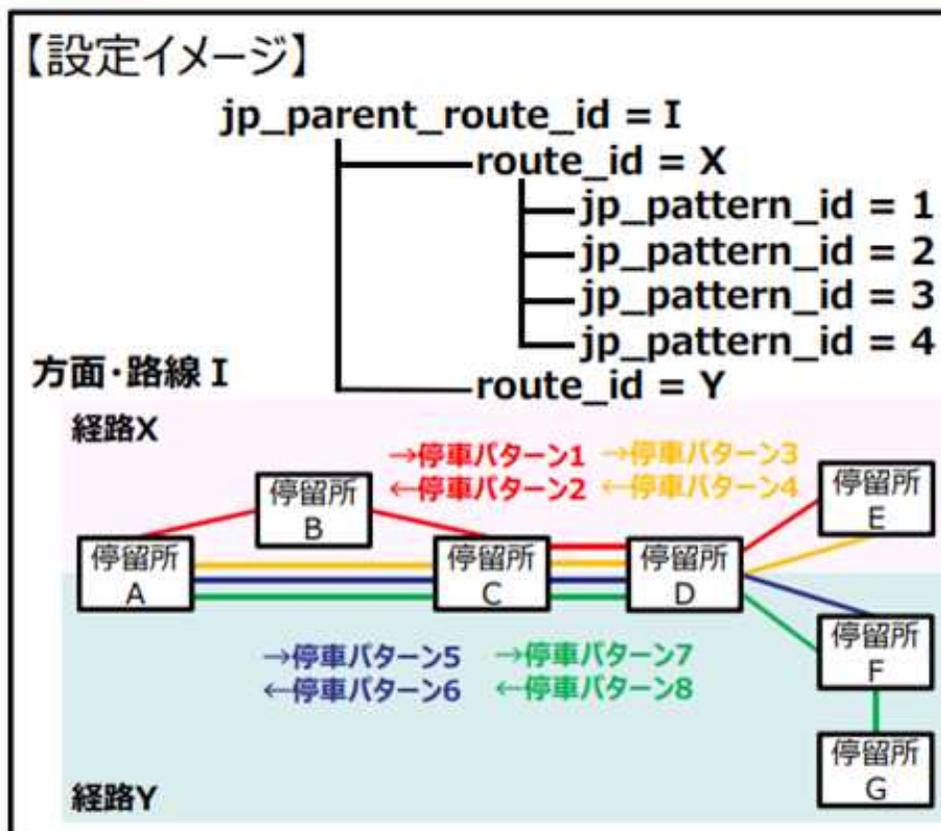
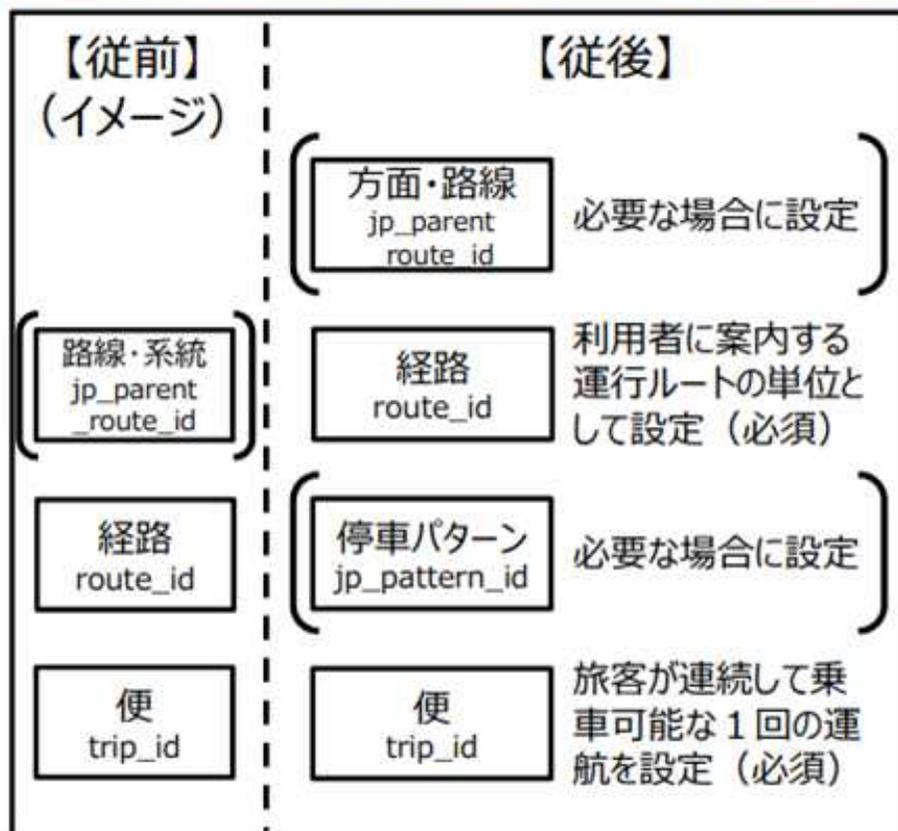


図表6 経路設定の考え方

- ・バス利用者から見た時に、1つの運行単位として認識されている「経路」ごとに、route\_idを設定することを求める

## ※仕様書(第3版) 16ページ 2-3. 経路情報(必須: routes.txt) 参照

- “route\_id” (経路ID) について、国際仕様に合わせ、経路違いや途中止まり、往路や復路等の違いで個別に設定せず、利用者から1つの運行単位と認識されている「経路」ごとに設定するよう変更。
- ただし、同一経路IDに紐付くデータ項目に複数のデータが含まれる場合(例えば、同一経路に紐付く系統番号やが複数存在する場合や、同一経路でも運賃が異なる場合)には、異なる経路IDを設定。
- これに伴い、従来別々の経路IDを設定していた、経路違いや途中止まり、往路・復路などの「運行パターン」による分類が別途必要な場合は、新設する“jp\_pattern\_id”を使用。
- 経路IDを束ねるための “jp\_parent\_route\_id” については、事業者が、経路の上位概念である「方面・路線」ごとに、任意に経路IDを束ねる上位のキーとして維持。



## routes.txtの例

1 小牧駅市役所線			
バス停名		1便	2便
		全日	全日
1 小牧駅		7:11	7:44
2 ラビオ前		7:14	7:47
3 市民会館南		7:15	7:48
4 メナード美術館前	11001	7:17	7:50
5 小牧市民病院		7:19	7:52
6 小牧山前		7:22	7:55
7 小牧市役所		7:23	7:56
7 小牧市役所		7:26	7:59
6 小牧山前		7:27	8:00
5 小牧市民病院	12001	7:29	8:03
4 メナード美術館前		7:32	8:05
3 市民会館南		7:34	8:07
2 ラビオ前		7:35	8:08
1 小牧駅		7:40	8:13

### 従来方式

```
route_id,agency_id,route_short_name,route_long_name,route_desc,route_type,jp_parent_route_id,route_color,route_text_color
111001,2000020232190,,こまくる 1小牧駅市役所線,,3,11,FF6633,FFFFFF
112001,2000020232190,,こまくる 1小牧駅市役所線,,3,11,FF6633,FFFFFF
```

1 小牧駅市役所線			
バス停名		1便	2便
		全日	全日
1 小牧駅		7:11	7:44
2 ラビオ前		7:14	7:47
3 市民会館南		7:15	7:48
4 メナード美術館前		7:17	7:50
5 小牧市民病院		7:19	7:52
6 小牧山前			7:55
7 小牧市役所	11		7:56
7 小牧市役所			7:59
6 小牧山前			8:00
5 小牧市民病院		7:30	8:03
4 メナード美術館前		7:32	8:05
3 市民会館南		7:34	8:07
2 ラビオ前		7:35	8:08
1 小牧駅		7:40	8:13

### route\_idを統合

```
route_id,agency_id,route_short_name,route_long_name,route_desc,route_type,route_color,route_text_color
11,2000020232190,,こまくる 1小牧駅市役所線,,3,FF6633,FFFFFF
```

※参考：小牧市データ

## trip.txtの例

1 小牧駅市役所線				
バス停名	1便		2便	
	全日	全日	全日	全日
1 小牧駅	7:11	7:44		
2 ラビオ前	7:14	7:47		
3 市民会館南	7:15	7:48		
4 メナード美術館前	7:17	7:50		
5 小牧市民病院	7:19	7:52		
6 小牧山前	7:22	7:55		
7 小牧市役所	7:23	7:56		
7 小牧市役所	7:26	7:59		
6 小牧山前	7:27	8:00		
5 小牧市民病院	7:30	8:03		
4 メナード美術館前	7:32	8:05		
3 市民会館南	7:34	8:07		
2 ラビオ前	7:35	8:08		
1 小牧駅	7:40	8:13		

## 従来方式

```
route_id,service_id,trip_id,trip_headsign,block_id,trip_short_name,shape_id,jp_trip_desc
111001,平日,1平日_07時11分_系統111001,小牧市役所,,111001,
111001,平日,1平日_07時44分_系統111001,小牧市役所,,111001,
.
.
112001,平日,1平日_07時26分_系統112001,小牧駅,,112001,
112001,平日,1平日_07時59分_系統112001,小牧駅,,112001,
```

1 小牧駅市役所線				
バス停名	1便		2便	
	全日	全日	全日	全日
1 小牧駅	7:11	7:44		
2 ラビオ前	7:14	7:47		
3 市民会館南	7:15	7:48		
4 メナード美術館前	7:17	7:50		
5 小牧市民病院	7:19	7:52		
6 小牧山前	7:22	7:55		
7 小牧市役所	7:23	7:56		
7 小牧市役所	7:26	7:59		
6 小牧山前	7:27	8:00		
5 小牧市民病院	7:30	8:03		
4 メナード美術館前	7:32	8:05		
3 市民会館南	7:34	8:07		
2 ラビオ前	7:35	8:08		
1 小牧駅	7:40	8:13		

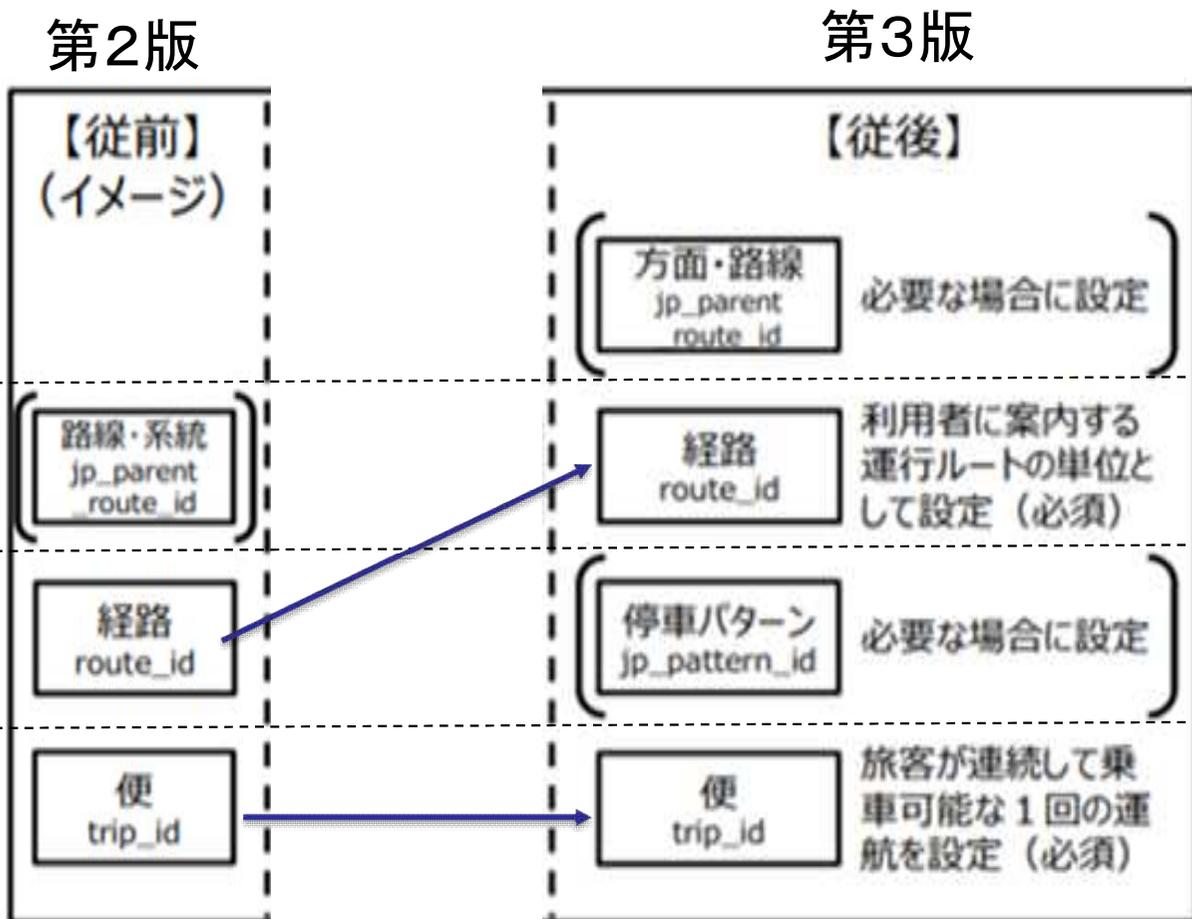
## route\_idを統合

```
route_id,service_id,trip_id,trip_headsign,direction_id,block_id,trip_short_name,shape_id,jp_trip_desc
11,平日,1平日_07時11分_系統111001,小牧市役所,0,,111001,
11,平日,1平日_07時44分_系統111001,小牧市役所,0,,111001,
.
.
11,平日,1平日_07時26分_系統112001,小牧駅,1,,112001,
11,平日,1平日_07時59分_系統112001,小牧駅,1,,112001,
```

上下の方向違いは direction\_idで分ける

※参考:小牧市データ

## 従来方式との比較



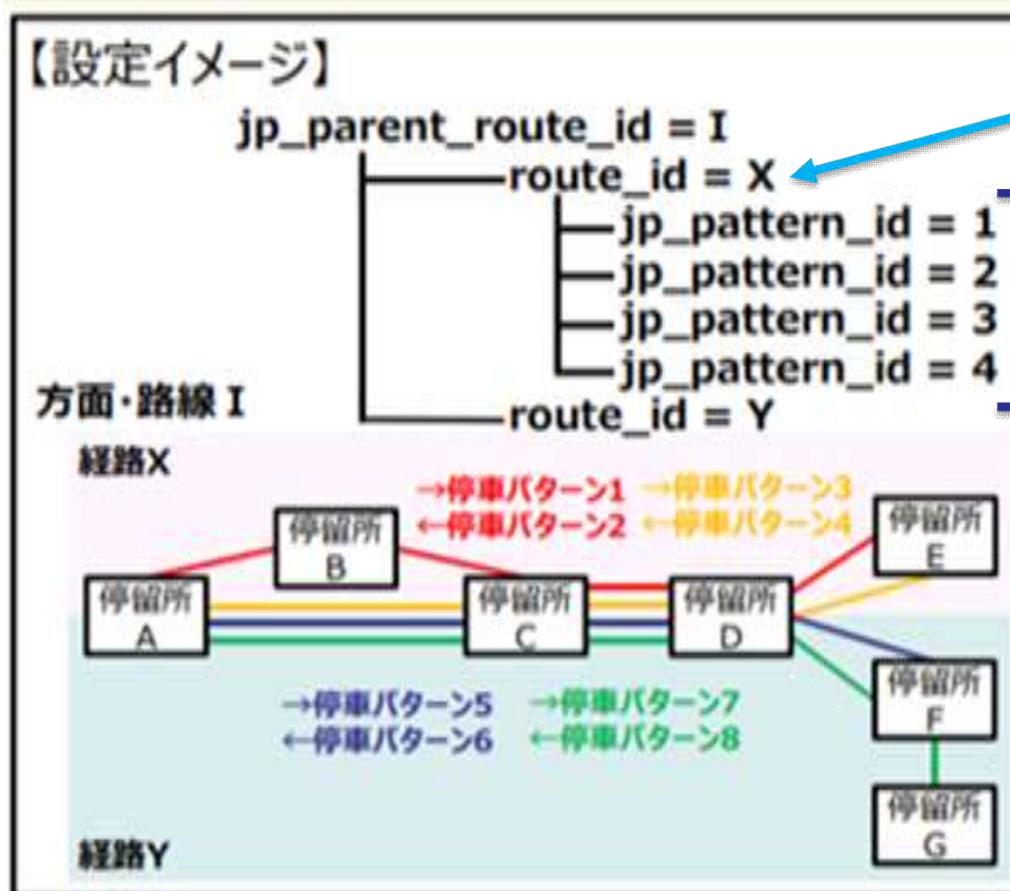
GTFS-JP (第3版)では

route\_idとして、運行ルートの単位としてデータをまとめることを基本としつつ、その内容を分ける必要がある場合に利用する、jp\_pattern\_idを設けました

# 個別データが必要な場合

## ■ 停車パターンの追加

バスロケーションシステムやバス車両搭載機器などにおいて、往路・復路等の個別の経路データが必要なことがあります。それぞれ設定可能にするため、便の途中停車パターンを識別する等、経路を分類する単位を追加



統合されたroute\_id

従来方式での  
往路・復路、経由地違いや  
途中止まりなどを分類するため  
のjp\_pattern\_idを新設

## jp\_pattern\_idの設定方法

trips.txtのフィールドにjp\_pattern\_idを追記

フィールド名	日本語名	日本のバス向けの設定項目	設定例
route_id	経路ID	事業者が内部的に使用しているコードをそのまま設定可。	1001
service_id	運行日ID	運行区分を表す値を設定。	平日（月～金）
trip_id	便ID	便を特定するIDを指定。	1001_WD_001
trip_headsign	便行先	便としての行先と経路を設定。	東京ビッグサイト（月島駅経由）
trip_short_name	便名称	便を特定可能な名称がある場合、旅客に案内する必要がある場合のみ設定。【例：萩エクスプレス1号】	※設定例では便番号に相当するものがないため省略
direction_id	往復区分	その便の往復区分を指定。 0：復路、1：往路	1
block_id	便結合区分	別々の便(trips)として設定されている便を紐付け、連続して案内を行う場合に設定。	※設定例は循環系統ではないため省略
shape_id	描画 ID	地図上に描かれる描画を特定する値を設定。	S_1001
wheelchair_accessible	車いす利用区分	当該便における車いすの乗車可否について設定。	0
bikes_allowed	自転車持込区分	当該便における自転車の持込可否について設定。	0
jp_trip_desc	便情報	案内時に便に説明が必要な場合に使用。	
jp_trip_desc_symbol	便記号	時刻表形式で案内を行う場合に、便情報に代わり時刻に付ける凡例を設定。	
jp_office_id	営業所ID	交通事業者の営業所を一意に識別する値を指定。	S
jp_pattern_id	停車パターンID	ダイヤシステムで設定されている系統コードや、音声合成コードなどを設定。	1001（旧道経由） 東京01

pattern.jp.txt

フィールド名	日本語名	日本のバス向けの設定項目	設定例
jp_pattern_id	停車パターンID	ダイヤシステムで設定されている系統コードや、音声合成コードなどを設定。	1001（旧道経由） 東京01
route_update_date	ダイヤ改正日	ダイヤ改正日を明示的に登録する場合に設定。	20170106
origin_stop	起点	起点名に使用されるテキストを指定。	東京駅八重洲口
via_stop	経過地	経過地名に使用されるテキストを指定。	月島駅
destination_stop	終点	終点名に使用されるテキストを指定。	東京ビッグサイト

route\_idを物理的に束ねられない場合

- ・運賃が異なる
- ・系統番号が異なる
- ・経路略称・経路名が異なる
- ・経路色が異なる
- ・経路文字色が異なる

経路検索事業者にデータを提出した際に、指摘を受けることがあります。その場合は運賃が異なることが理由である旨などを明らかにしてください

## 第3版での主な変更点

- 停留所と標柱の設定方法
- 経路等の設定方法
- 多言語・ふりがなの設定方法

## ※仕様書(第3版) 36ページ 2-14-5. 同一漢字で読みが異なる場合 参照

- Translations.txt (翻訳情報) の設定について、従来は、停留所名や路線名等の文字列をデータ全体で全て一律に変換 (例えば、データ上の全ての「新宿」→「しんじゅく」/「Shinjuku」) する方式を採用。
- そのため、同一表記で異なる文字列が存在する場合は、予め文字列にふりがなを含める (例えば「新宿(しんじゅく)」と「新宿(にいじゅく)」) 等により区別。
- 第3版では、国際仕様に合わせ、他のテーブルで設定したバス停や経路等の「id単位」での変換が可能となる、“record\_id”や“record\_sub\_id”を用いた設定方法を新設。
- 従来の「文字列単位」で変換を行う方式についても、新設する“field\_value”を用いた設定方法に変更。

### 【第3版における設定イメージ】

(record\_id / record\_sub\_idを用いる場合)

stops.txt

stop_id	stop_name
10	新宿
20	新宿



translations.txt

table_name	field_name	language	translation	record_id	record_sub_id
stops	stop_name	ja	新宿	10	NONE
stops	stop_name	ja-Hrkt	しんじゅく	10	NONE
stops	stop_name	en	Shinjuku	10	NONE
stops	ja	ja	新宿	20	NONE
stops	ja-Hrkt	ja-Hrkt	にいじゅく	20	NONE
stops	en	en	Nijuku	20	NONE

### 【第2版と第3版の記載ルールの変更イメージ】

(record\_id / record\_sub\_idを用いる場合)

現行フォーマットのtranslations.txt

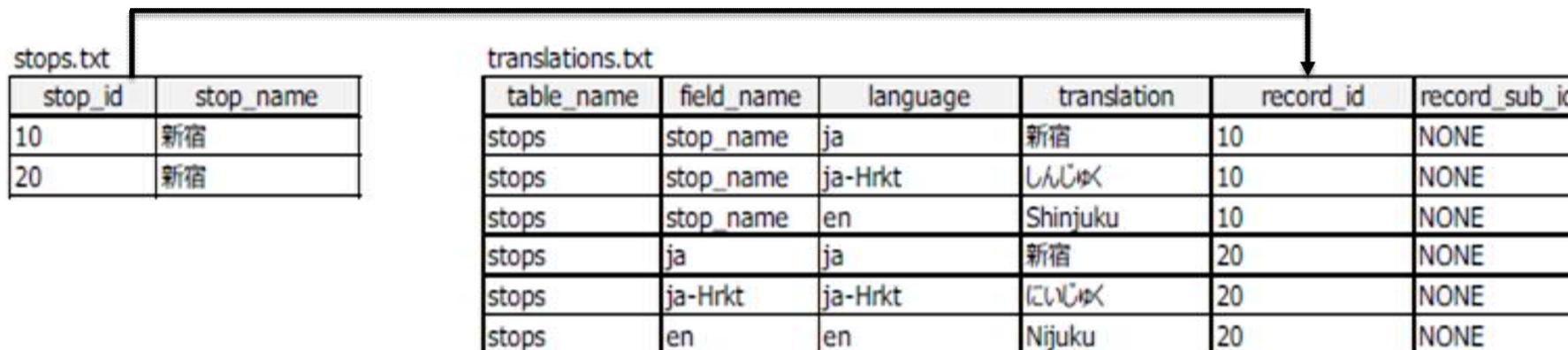
trans_id	lang	translation
新宿(しんじゅく)	ja	新宿
新宿(しんじゅく)	ja-Hrkt	しんじゅく
新宿(しんじゅく)	en	Shinjuku
新宿(にいじゅく)	ja	新宿
新宿(にいじゅく)	ja-Hrkt	にいじゅく
新宿(にいじゅく)	en	Nijuku

新フォーマットのtranslations.txt

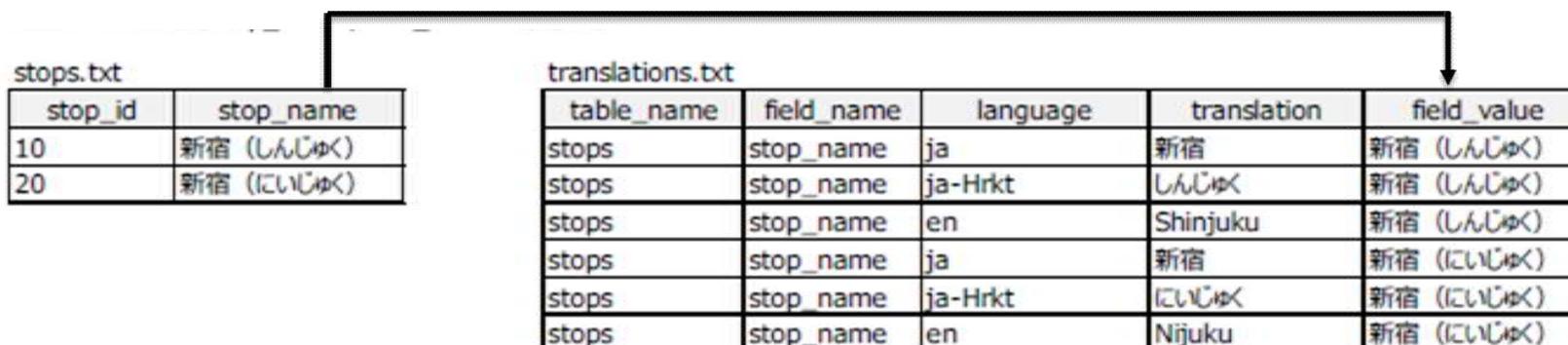
table_name	field_name	language	translation	record_id	record_sub_id
stops	stop_name	ja	新宿	10	NONE
stops	stop_name	ja-Hrkt	しんじゅく	10	NONE
stops	stop_name	en	Shinjuku	10	NONE
stops	stop_name	ja	新宿	20	NONE
stops	stop_name	ja-Hrkt	にいじゅく	20	NONE
stops	stop_name	en	Nijuku	20	NONE

※仕様書(第3版) 36ページ 2-14-5. 同一漢字で読みが異なる場合 参照

方法1. stop\_idをrecord\_idに設定する



方法2. よみがなをstop\_name/field\_value に付記する



第3版での変更点については、新旧対照表にまとめています。ここでは代表的な内容を紹介します

## ■ GTFS-JPの位置づけについて記載

### 1. 静的バス情報フォーマット(GTFS-JP)の概要

#### 1-3. バスに関する情報のデータ化における、GTFS-JPの位置づけ

GTFS-JPは、バスに関する情報のデータ化を行う際のデータフォーマットを標準化することを目的としており、1-1及び1-2に記載したような理由から、推奨されるデータフォーマットの形式として提示したものです。

1-4以降に記載する通り、GTFS-JPは各ファイルが相関関係を持って成り立っているデータフォーマットであることから、使用の際は2.に記載の仕様を全て取り入れることとして下さい。

# 第3版での変更点紹介

## ■方面・路線IDの追加(日本独自)

### 1-5. 日本向け拡張仕様について

#### 1-5-3 命名規則

## 2. 方面・路線 ID の追加 (日本独自)

項目追加	方面・路線 ID [routes.jp_parent_route_id]
理由	複数経路を路線として束ねた時刻表案内等を可能にするため。また運賃、系統番号、経路略称・経路名 [route_short_name, route_long_name]、経路色 [route_color]、経路文字色 [route_text_color] に違いがあり、同一経路を単一経路 ID [route_id] で束ねられない際にそれら経路の紐付けを可能にするため。

# 第3版での変更点紹介

## ■経路及び停車パターンの分け方

### 2. 各項目の設定方法

#### 2-3-1. 経路及び停車パターンの分け方

GTFS-JP では、上記の「経路」単位で経路 ID[route\_id]を設定することを基本とします。

しかし、運賃、系統番号、経路略称・経路名 [route\_short\_name、route\_long\_name]、経路色 [route\_color]、経路文字色 [route\_text\_color] に違いがある場合は、これらを1つの route\_id で表すことができないため、異なる「経路」として設定します。

また、バスロケーションシステムへの取り込み時等の利用を鑑み、経由違いや途中止まり、往路・復路等の違いを識別する情報が必要である場合には、停車パターン ID[jp\_pattern\_id(trips.txt)]を設定します。jp\_pattern\_id は始発停留所から終着停留所までそれぞれの停留所のパターンごとに作成することを基本としますが、各事業者の事情に合わせた設定内容とすることも可能です。(jp\_pattern\_id は便 ID[trip\_id]に紐付けて設定するため、routes.txt ではなく、trips.txt に記述します。)

## ■路線単位で均一運賃の場合の項目を追加

2-9. 運賃属性情報(必須:fare\_attributes.txt)・運賃定義情報(条件付き必須:fare\_rules.txt)

### 2-9-2. 運賃の設定例

#### 例2: 路線単位で均一運賃

運賃: 系統1001は100円均一

系統1002、1003は200円均一

fare\_attributes.txt の設定

fare_id	Price	currency_type	payment_method	transfers
100	100	JPY	0	0
200	200	JPY	0	0

fare\_rules.txt の設定

fare_id	route_id	origin_id	destination_id
100	1001		
200	1002		
200	1003		

## Google マップへの掲載手順

### Google マップで交通機関の情報を共有する方法

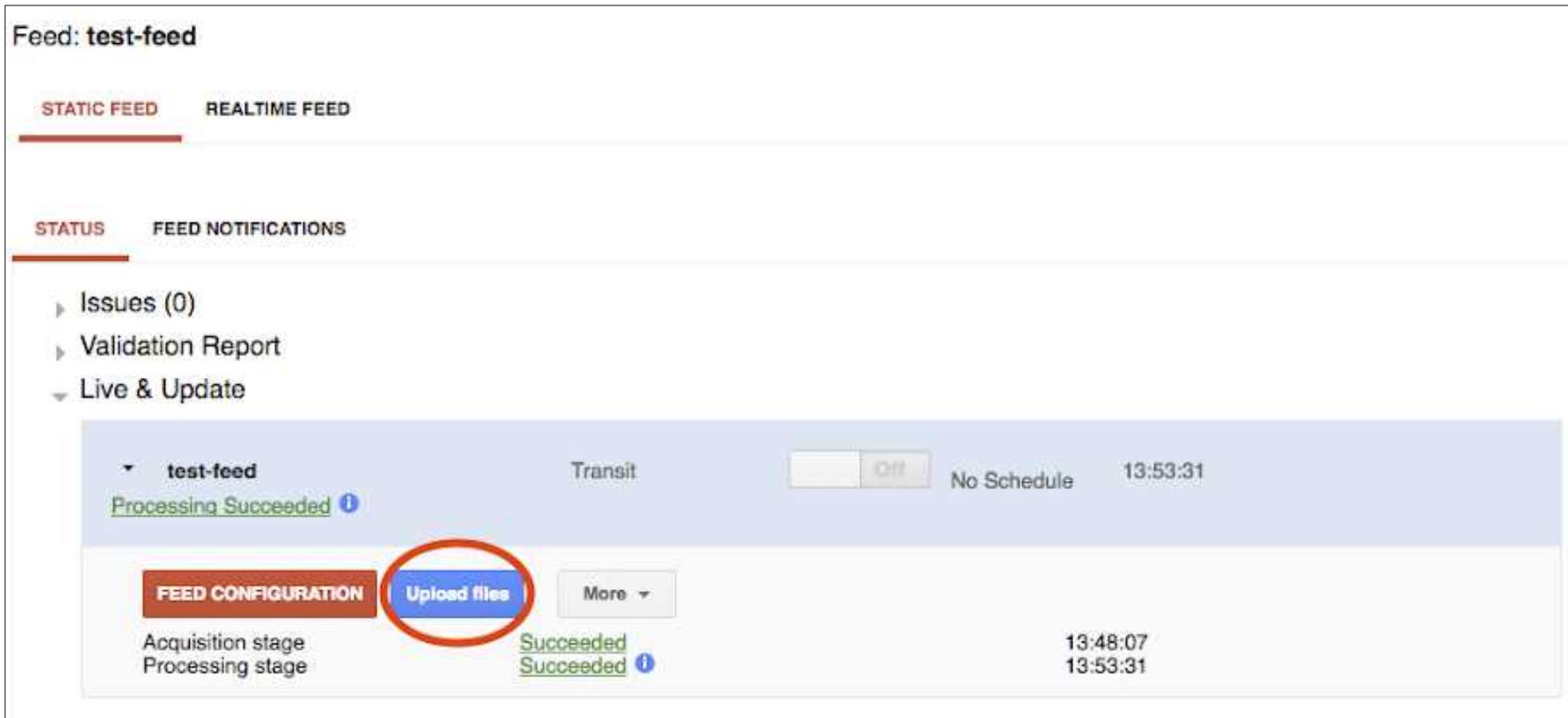
参加資格を確認したら、次の手順に従って Google マップで交通機関の情報を共有してください。

1. 乗換案内パートナーダッシュボードを開く
2. フィードを作成する
3. GTFS フィードのデータを公開する
4. フィードを確認する
5. 限定公開プレビューを使ってテストする
6. フィードを公開する

(引用: 乗換案内パートナーヘルプ)

<https://support.google.com/transitpartners/answer/1111481?hl=ja>

## パートナーダッシュボード(管理画面)イメージ



The screenshot displays the Partner Dashboard (Management Screen) for a feed named "test-feed". The interface includes tabs for "STATIC FEED" and "REALTIME FEED", and sub-tabs for "STATUS" and "FEED NOTIFICATIONS". The "STATUS" sub-tab is active, showing a list of feed items. The "test-feed" item is highlighted, showing its status as "Processing Succeeded" and a "More" dropdown menu. The "More" menu is open, revealing options for "FEED CONFIGURATION" and "Upload files". The "Upload files" button is circled in red. Below the "Upload files" button, the "Acquisition stage" and "Processing stage" are both shown as "Succeeded".

Feed Name	Type	Status	Schedule	Last Update
test-feed	Transit	Processing Succeeded	No Schedule	13:53:31

FEED CONFIGURATION   **Upload files**   More ▾

Acquisition stage: Succeeded   13:48:07  
Processing stage: Succeeded   13:53:31

(引用:乗換案内パートナーヘルプ)

<https://support.google.com/transitpartners/answer/1111481?hl=ja>

## エラーの一例

### ◆必要なファイルが見つからない(Missing required file)

【内容】必須であるいずれかのtxtファイルが不足している

【対応】

多くの場合、zipファイルの作成方法が間違っている。

zipファイル作成時はフォルダを選択ではなく、テキストファイル全てを選択→圧縮

### ◆IDが重複している(Duplicate Identifier)

【内容】いずれかのファイル内でidが重複している

【対応】idの重複を確認、修正

### ◆時刻が前後している(Stop Times with Arrival Before Previous Departure Time)

【内容】ダイヤ上、ある区間の時刻が逆転している(stop\_times.txt)

【対応】ダイヤの誤りが無いか確認、修正

(参考:乗換案内パートナーヘルプ)

[https://support.google.com/transitpartners/answer/10728367?hl=ja&ref\\_topic=6377382](https://support.google.com/transitpartners/answer/10728367?hl=ja&ref_topic=6377382)

## ワーニングの一例

### ◆不明なファイル(Unknown File) / 不明な項目(Unknown Column)

【内容】GTFSで定義されていないファイル、項目が含まれている

【対応】(ほとんどの場合)GTFS-JPで拡張されたファイル・項目のため問題なし。

例) agency\_jp.txt、 routes\_jp.txt

routes.txtのjp\_parent\_route\_id、 trips.txtのjp\_trip\_desc

### ◆停留所間の移動が速すぎる(Fast Travel Between Stops)

【内容】ダイヤ上で、ある区間の移動が速すぎる

(停留所間の距離に対して所要時間が短すぎる)

【対応】ダイヤの誤りが無いか確認

### ◆停留所が近すぎる(Stops Too Close)

【内容】停留所や標柱が全く同じ位置、もしくは近すぎる位置に設定されている

【対応】停留所の位置(緯度経度)が正しいか確認

(参考:乗換案内パートナーヘルプ)

[https://support.google.com/transitpartners/answer/10830671?hl=ja&ref\\_topic=6377382](https://support.google.com/transitpartners/answer/10830671?hl=ja&ref_topic=6377382)

新路線の追加や、時刻表の内容に変更があった場合には、都度、各経路検索会社への変更登録が必要となります。

実際には時刻表が変更されているにも関わらず、経路検索に変更後のデータが登録されていないと、経路検索では古い時刻データなどが表示され、利用者に間違った情報が伝わります。

経路検索会社側での登録にかかる日数などを勘案し、ご提出をお願いします。

## ■ヴァル研究所のデータ授受担当者コメント

- ・覚書の締結が必要になります(オープンデータの場合は不要です)
- ・改正の都度継続してGTFS-JPの更新をお願いいたします
- ・改正日の前(可能であれば2週間前)にデータをいただきたいです
- ・データの不備を避けるため、ヴァル研究所でGTFSチェッカーを公開しておりますので、チェック後にデータをご提供いただきたいです
- ・データの有効期限があまりに短い場合(例えば1か月など)は、掲載を見送らせていただく場合がございます

※各経路検索会社ごとに掲載基準が異なりますのでご注意ください